

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	両側性・反復性顔面神経麻痺症例の臨床的特徴-50年間の後方視的検討-
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医員 田中武道
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2027年 12月 31日
対象となる方	1976年10月から2025年12月に愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科を受診された方のうち顔面神経麻痺と診断された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	顔面神経麻痺は、通常は片側だけに1回起こることが多い病気です。しかし中には、両側に起こったり、何度も繰り返したりする、少し珍しい経過をたどる方もおられます。私たちは、このような「特別なタイプの顔面神経麻痺」について、どのくらいの割合で起こるのか、原因や経過、回復のしやすさなどを詳しく調べたいと考えています。しかしこれまで、このような特別なタイプの顔面神経麻痺を長期間にわたって観察した研究はほとんどありません。そこで本研究では、過去およそ50年間に当科を受診された患者さんの診療記録をもとに、発症の時期や経過、回復の様子などを振り返って分析し、一般的な片側1回だけの顔面神経麻痺と比較することで、その特徴を明らかにすることを目的としています。
個人情報の保護 について	この研究で収集される情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される情報等を新たな研究に利用する

	場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 田中武道 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5366